



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL <https://www.vitalksk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村井 泰介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-266-8330
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	443,190	0.9	1,866	△10.5	4,302	1.9	2,433	△0.6
2022年3月期第3四半期	439,329	7.5	2,086	—	4,220	665.7	2,448	629.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,740百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 △554百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	46.59	—
2022年3月期第3四半期	44.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	336,058	102,417	30.1
2022年3月期	313,033	100,041	31.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 101,263百万円 2022年3月期 98,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	27.00	39.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	567,300	△1.7	1,940	△34.1	4,900	△16.0	4,400	△7.8	84.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	61,224,796株	2022年3月期	61,224,796株
2023年3月期3Q	9,438,644株	2022年3月期	7,987,331株
2023年3月期3Q	52,229,190株	2022年3月期3Q	54,604,495株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス禍が継続する中、ワクチンの接種は進んでおりますが、依然先行きの見えない状態が続いております。

このような中、当社グループは2023年3月期から2025年3月期までの3年間にわたる第5次中期経営計画がスタートいたしました。第5次中期経営計画では、2025年に目指す姿としての長期ビジョン「医療・介護を支える商品やサービスを戦略的に提供することにより、地域・コミュニティのヘルスケアになくてはならない存在となる」に引き続き取り組むとともに、「次代を見据えたビジネスモデルの革新」を中期ビジョンとし、実践課題として「1. 市場の構造変化と市場特性に合わせた医薬品流通モデルの追求」「2. 医療のDX進展に伴う流通・マーケティングモデルの進化」「3. プライム市場に対応したグループ経営推進」を設定し、この課題を着実に解決することで、地域ヘルスケアになくてはならない企業として一層の進化を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高443,190百万円（前年同期比100.9%）、営業利益1,866百万円（前年同期比89.5%）、経常利益は4,302百万円（前年同期比101.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,433百万円（前年同期比99.4%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医薬品卸売事業

当社グループの主力事業である医薬品卸売事業の当連結累計期間におきましては、薬剤費ベースで6.69%の薬価改定によるマイナスの影響はあったものの、主に新型コロナウイルス感染症関連の医療機器や臨床検査試薬等の販売が堅調に推移したため、販売面において前年同期実績を上回り伸ばいたしました。

利益面におきましては、取引コストを意識した価格交渉を徹底したことや新型コロナウイルス感染症関連の医療機器や臨床検査試薬等の販売増により、さらには昨年度から引き続き国や地方自治体から受託した新型コロナワクチンの配送業務に係る収益も予想を超えたことにより、第1四半期に発生した薬価改定に伴う前期末在庫の新旧仕切価に関わるマイナスの会計処理の影響を吸収しても営業利益は前年実績を大きく上回る予定でありました。

しかしながら、2022年10月28日に、当社グループの一部の取引先が東京地方裁判所に自己破産を申請したことにより、当社グループが保有する債権について取立不能のおそれが生じたと判断し、第2四半期において貸倒引当金を計上したことで、営業利益は前年実績を下回る結果となりました。以上のことにより、売上高は418,262百万円（前年同期比100.8%）、セグメント利益（営業利益）は、1,623百万円（前年同期比96.1%）となりました。

②薬局事業

薬局事業におきましては、国が求めるかかりつけ薬局を目指し、関連する調剤報酬の算定に努めましたが、薬価改定の影響により売上高は、13,769百万円（前年同期比99.8%）、セグメント利益（営業利益）は、77百万円（前年同期比47.7%）となりました。

③動物用医薬品卸売事業

動物用医薬品卸売事業におきましては、高利益商品の販売増により売上高は、8,157百万円（前年同期比103.9%）でしたが、物流費の増加により、セグメント利益（営業利益）は、276百万円（前年同期比86.6%）となりました。

④その他事業

その他事業におきましては、農薬卸売事業の販売が好調だったものの、新型コロナウイルスの影響で介護事業やスポーツ関連施設運営事業等の業績が振るわず、売上高は、3,000百万円（前年同期比107.5%）、セグメント損失（営業損失）は、236百万円の損失（前年同期実績は119百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,971	35,219
受取手形及び売掛金	119,533	132,150
棚卸資産	31,788	35,205
未収入金	16,617	16,821
その他	3,672	3,149
貸倒引当金	△50	△50
流動資産合計	198,532	222,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,303	20,678
土地	20,735	20,655
その他（純額）	5,722	4,216
有形固定資産合計	45,761	45,550
無形固定資産		
のれん	2,874	2,617
その他	2,162	2,134
無形固定資産合計	5,036	4,751
投資その他の資産		
投資有価証券	47,508	51,191
その他	16,771	13,520
貸倒引当金	△576	△1,452
投資その他の資産合計	63,703	63,259
固定資産合計	114,501	113,562
資産合計	313,033	336,058

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176,685	201,769
短期借入金	990	990
1年内返済予定の長期借入金	970	970
未払法人税等	2,399	534
賞与引当金	1,542	613
その他	7,505	8,163
流動負債合計	190,092	213,041
固定負債		
長期借入金	7,760	7,032
その他の引当金	244	240
退職給付に係る負債	2,629	626
その他	12,265	12,700
固定負債合計	22,898	20,598
負債合計	212,991	233,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,810	12,810
利益剰余金	64,402	65,469
自己株式	△6,581	△7,575
株主資本合計	75,631	75,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,645	24,144
退職給付に係る調整累計額	1,683	1,414
その他の包括利益累計額合計	23,329	25,559
非支配株主持分	1,080	1,154
純資産合計	100,041	102,417
負債純資産合計	313,033	336,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	439,329	443,190
売上原価	407,034	409,345
売上総利益	32,295	33,844
販売費及び一般管理費	30,208	31,977
営業利益	2,086	1,866
営業外収益		
受取利息	37	51
受取配当金	578	555
持分法による投資利益	49	83
受取事務手数料	1,180	1,194
その他	453	695
営業外収益合計	2,298	2,580
営業外費用		
支払利息	74	74
賃貸費用	64	60
その他	25	9
営業外費用合計	164	144
経常利益	4,220	4,302
特別利益		
固定資産売却益	12	15
投資有価証券売却益	—	59
その他	5	—
特別利益合計	17	74
特別損失		
固定資産売却損	19	0
減損損失	47	22
投資有価証券評価損	8	56
土壌処理費用	—	136
その他	16	28
特別損失合計	92	244
税金等調整前四半期純利益	4,145	4,132
法人税等	1,608	1,622
四半期純利益	2,536	2,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,448	2,433

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,536	2,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,629	2,416
退職給付に係る調整額	△291	△267
持分法適用会社に対する持分相当額	△169	81
その他の包括利益合計	△3,091	2,230
四半期包括利益	△554	4,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△642	4,663
非支配株主に係る四半期包括利益	88	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

該当事項はありません

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

該当事項はありません

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、その主たるセグメントである「医薬品卸売事業」、「薬局事業」及び「動物用医薬品卸売事業」を報告セグメントとしております。

「医薬品卸売事業」は、病院、開業医、薬局等の医療機関に、医薬品・診断薬・医療機器・材料等の販売等をしております。「薬局事業」は、一般消費者に医薬品・医療機器・器具及び衛生材料等の販売をしております。

「動物用医薬品卸売事業」は、農場、牧場、動物病院、診療所等に、動物用医薬品・飼料等の販売等をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	414,895	13,791	7,850	436,537	2,791	439,329	—	439,329
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,611	1	0	6,613	1,859	8,472	△8,472	—
計	421,507	13,792	7,850	443,150	4,651	447,801	△8,472	439,329
セグメント利益又は損 失(△)	1,688	162	318	2,169	△119	2,050	36	2,086

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額36百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸 表計上額 (注3)
	医薬品 卸売事業	薬局事業	動物用医薬 品卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	418,262	13,769	8,157	440,189	3,000	443,190	—	443,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,976	6	0	7,983	1,896	9,880	△9,880	—
計	426,239	13,776	8,157	448,173	4,896	453,070	△9,880	443,190
セグメント利益又は損 失(△)	1,623	77	276	1,976	△236	1,740	126	1,866

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農薬等の卸売業、介護サービス業、運送業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額126百万円はセグメント間取引消去等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。